



めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校便り

令和4年 8月号

ヨハネスブルグ日本人学校

2学期の始まりにあたって

今年の冬季休業は、寒い日があったものの日中は穏やかな日々が続きました。

一方、日本では、各地で猛暑が続く中、東北地方や北陸地方に大きな水害、また、旧盆の時期に台風が関東地方を直撃し、交通機関がマヒするなど大きな被害をもたらしました。一刻も早い復興や復旧を願いつつ、改めて、気候の安定したヨハネスブルグでの生活は大変ありがたさを実感します。

さて、JSJ の子どもたちが、短い冬休みを経て大きな事故もなく、元気に1学期を終えることができたことを本当に嬉しく思います。これもひとえに、保護者の皆様、地域の皆様のおかげと感謝申し上げます。



今日から、2学期がスタートし、休業中とは一日の過ごし方が異なるため、なかなか「気持ちの切り替え」が難しいかも知れません。まずは、気持ちの切り替え、そして、気力と体力の充実です。そのためには、まず、生活のリズムを整えることです。安定した生活リズムが気力と体力を確実に生み出します。

さらに、気力を充実させるためには、具体的な目標をもつことです。1学期末の反省を基にして、「2学期はここを頑張ろう。ここを注意しよう。」というように、自分の目標を立てること。その目標をもとに、気持ちを新たにすることが大切です。



目標達成!

また、2学期にやってみたいことや楽しくなることをあれこれ考えると学校へ行くことが楽しくなるはず。 「あれもしたい、これもしたい」と楽しいことに考えを巡らし、楽しいことを考える「プラス思考」で、2学期を気持ちよくスタートしてほしいと願います。



2学期も、子供たちにとって運動会をはじめとするたくさんの行事に参加する機会があります。一つ一つの行事において経験したことが子供たちの成長につながると考えます。また、コロナ渦を受け、様々な制限がある中、南アフリカの罹患者数の推移や感染状況を踏まえ、対策基準の解除について検討を始めています。さらに、3年ぶりに日本人会春祭りも復活することも大変うれしいニュースであり、子供たちにとって「楽しく実り多き2学期」にしたいと思います。



1学期に引き続き保護者の皆様、日本人会の方々のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

祝

8月31日に、開校記念日を迎えます! 祝 開校56周年

この日には、お祝いの朝会を行う予定です。以下、簡単に本校の歴史をご紹介します。

昭和41年8月31日に開校したJSJは、翌、昭和42年4月に全日制的日本人学校として正式に認められました。そして、昭和50年に、日本国における小中学校の教育課程と同等の課程を有する在外教育施設としての認定を受けました。

また、南アフリカの私立学校としての登録がなされており、国内における私立学校と同等の扱いを受けています。

本校はヨハネスブルグ市内のエマレンシアの緑豊かで閑静な住宅地に位置しています。世界の日本人学校の中でも長い歴史をもつ本校は、令和4年度で、開校56周年を迎えます。

南アフリカの自然豊かな恵まれた環境を生かし、予測のしにくい未来社会で的確に判断し、心身ともにたくましい国際人として活躍できるよう、日々の着実な学びや生活を大事にしていく気持ちを改めてもってほしいと願うところです。

